

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成22年12月24日 (2010.12.24)

【公開番号】特開2009-135686(P2009-135686A)  
 【公開日】平成21年6月18日 (2009.6.18)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-024  
 【出願番号】特願2007-309084(P2007-309084)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 13/00 (2006.01)  
 H 0 4 N 5/92 (2006.01)  
 H 0 4 N 5/85 (2006.01)  
 G 1 1 B 20/12 (2006.01)  
 G 1 1 B 20/10 (2006.01)  
 G 1 1 B 27/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 13/00  
 H 0 4 N 5/92 C  
 H 0 4 N 5/92 H  
 H 0 4 N 5/85 Z  
 G 1 1 B 20/12  
 G 1 1 B 20/10 3 1 1  
 G 1 1 B 20/10 3 2 1 Z  
 G 1 1 B 27/00 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成22年11月10日 (2010.11.10)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

左目映像と右目映像とからなる立体映像を記録媒体に記録する映像情報記録方法であって、

前記立体映像を、左目映像と右目映像のいずれか一方を主映像として圧縮符号化した複数の主映像ピクチャからなる主映像情報ブロックと、他方の副映像を前記主映像との差分により圧縮符号化した複数の副映像ピクチャからなる副映像情報ブロックにより構成し、

前記主映像情報ブロックと前記副映像情報ブロックに対し、前記立体映像とともに表示されるグラフィックス情報の飛び出し又は奥行きを指定する奥行き情報を含む付帯情報を付加し、

前記主映像情報ブロック、前記副映像ブロック、および前記付帯情報を含む映像情報を前記記録媒体に記録することを特徴とする映像情報記録方法。

【請求項 2】

前記映像情報とともに、前記立体映像のフレームレートを示すフレームレート情報をさらに記録することを特徴とする請求項 1 に記載の映像情報記録方法。

【請求項 3】

前記立体映像は、フレーム内データ圧縮された I ピクチャ、時間的に前方向の I ピクチャに基づく動き補償により圧縮された P ピクチャと、時間的に前後の I ピクチャまたは P

ピクチャに基づく動き補償によりデータ圧縮されたＢピクチャとを含む映像情報ブロックからなるデジタル映像情報によって表され、

前記主映像情報ブロックと前記副映像情報ブロックは交互に配置されることを特徴とする請求項１に記載の映像情報記録方法。

【請求項４】

請求項１乃至３のいずれか１項に記載の映像情報記録方法により映像情報が記録された記録媒体を再生する映像情報再生装置。

【請求項５】

請求項４に記載の映像情報記録方法により映像情報が記録された記録媒体を再生する映像情報再生装置であって、前記付帯情報に基づいて左目用と右目用のグラフィックス情報を生成し、当該グラフィックス情報を前記立体映像とともに立体表示することを特徴とする映像情報再生装置。

【請求項６】

請求項１乃至３のいずれか１項に記載の映像情報記録方法により記録された光ディスク。

【請求項７】

左目映像と右目映像とからなる立体映像を記録媒体に記録する映像情報記録装置であって、

前記立体映像を、左目映像と右目映像のいずれか一方を主映像として圧縮符号化した複数の主映像ピクチャからなる主映像情報単位と、他方の副映像を前記主映像との差分により圧縮符号化した複数の副映像ピクチャからなる副映像情報単位により構成する手段と、

前記主映像情報単位と前記副映像情報単位に対し、前記立体映像とともに表示されるグラフィックス情報の飛び出し又は奥行きを指定する奥行き情報を含む付帯情報を付加する手段と、

前記主映像情報単位、前記副映像単位、および前記付帯情報を含む映像情報を前記記録媒体に記録する手段と、を備えたことを特徴とする映像情報記録装置。

【請求項８】

前記映像情報とともに、前記立体映像のフレームレートを示すフレームレート情報をさらに記録することを特徴とする請求項７に記載の映像情報記録装置。

【請求項９】

前記立体映像は、フレーム内データ圧縮されたＩピクチャ、時間的に前方向のＩピクチャに基づく動き補償により圧縮されたＰピクチャと、時間的に前後のＩピクチャまたはＰピクチャに基づく動き補償によりデータ圧縮されたＢピクチャとを含む映像情報ブロックからなるデジタル映像情報によって表され、

前記主映像情報ブロックと前記副映像情報ブロックは交互に配置されることを特徴とする請求項７に記載の映像情報記録装置。